

国防は最大の  
福祉である

初代会長 故 高橋季義



# 國の支え

(故中井信夫元大阪府議会議長・95才)

関西防衛を支える会  
(略称・関防会)

〒542-0081  
大阪市中央区南船場3-11-10  
心齋橋太陽ビル7階  
TEL 06-6241-1124  
発行人 濱野晃吉  
編集人 新川貞敏  
印刷所 (株)新聞印刷

第46号

(春季号)

平成23年4月1日(金)  
(皇紀2671年)  
(大正紀元100年)  
(昭和紀元86年)

## 占領憲法を破棄せよ

憲法学者 小森 義峯



「憲法上の革命」が行われている。現行憲法は、「革命」によって生まれ、「占領憲法」に代わったと説く。

昭和20年8月14日、日本は「ポツダム宣言」を受諾。9月2日、「降伏文書」に調印した。

9月11日、早くも東条元首相の逮捕が始まり、翌21年5月3日から「東京裁判」が始まった。

占領軍による終戦直後の日本改革は、「公職追放」「不敬罪の廃止と政治犯の釈放」「財閥解体」「農地改革」「内務省の廃止」等々、苛酷を極めた。

現行の「日本国憲法」の制定は、占領軍初期のこのような厳しい状況の中で、日本弱体化政策の総仕上げとして、占領軍により強行されたのである。

昭和21年2月13日、GHQのホイットニー民生局長は、日本政府代表(松本丞治憲法担当大臣・吉田茂外務大臣)に対し、英文で起草した「マツカーサー草案」を手渡し、「この英文草案をもとに、大日本帝国憲法(明治憲法)の定める改正手続きに従い、日本の新しい憲法を制定せよ」と厳命した。

その占領軍の厳命通り制定し、昭和22年5月3日から施行し、今日に至っているのが、現行「日本国憲法」である。

だから、米国製占領憲法に過ぎない「日本国憲法」は、すべからず、これを「破棄」して、以後、「成文憲法」は制定せず、「不文憲法」のまま

で行けばよい。

なぜなら、日本は、1889年(明治22年)に「大日本帝国憲法」を制定するまでは建国以来、ずっと「不文憲法」でやってきた。英国は、1066年の建国以来、一度も「成文憲法」を持ったことはないのだ。

「憲法破棄」などできるか、と唱える国会議員がいるが、その戦後の国会が、昭和23年6月19日、「教育勅語破棄」を、衆参両院の本会議で、それぞれ全会一致で行っている。

この戦後の先例に従って、今日の国会でも、衆参両院の本会議で、それぞれ全会一致を以て「現行憲法破棄」の決議をし、天皇の詔勅により、内外にこれを宣明すればよい。

なお、ご参考までに、現行憲法の成立をめぐる四大学説を次に紹介する。

### 現行憲法の成立をめぐる四大学説

1 改正説(公解釈・佐々木惣一、大石義雄)

明治憲法73条の定める改正手続きに従い、日本政府が、自主的に制定した憲法だ、と説く。

\* 明治憲法73条「将来此ノ憲法ノ条項ヲ改正スルノ必要アルトキハ勅命ヲ以テ議案ヲ帝國議會ノ議ニ付スヘシ」

「此ノ場合ニ於テ兩議院ハ各々其ノ総員三分ノ二以上出席スルニ非サレハ議事ヲ開クコト得ス。出席議員三分ノ二以上ノ多数ヲ得ルニ非サレハ改正ノ議決ヲ為スコトヲ得ス」

2 革命説(創始者は宮澤俊義東大教授・多教説)

日本は、「国民主権主義」を要求していた「ポツダム宣言」を、昭和20年8月14日、受諾した。

日本では、その時点で「天皇主権」から「国民主権」へと、

傾向ノ復活強化ニ対スル一切ノ障礙(しょうがい)ヲ除去スベシ」

\* ポツダム宣言12項「日本国民ノ自由ニ表明セル意志ニ從ヒ(中略)責任アル政府ガ樹立セラレルニ於テハ聯合國ノ占領軍ハ直ニ日本ヨリ撤収セラルベシ」

3 無効説(井上李膺(たかまろ)、菅原 裕、南出喜久治)

現行憲法は、占領下、占領軍の強制により、憲法改正の限界を越えた「国体の変革」まで行っている。故に理論上は「無効」、但し、現実には「公けの権威の確立があるまでは憲法として受け取り」「これに恪循(かくじゆん)するを要する」(井上李膺著「憲法研究」300頁)

4 非常大権説(小森義峯、里見岸雄、大串鬼代志)

ポツダム宣言は、明治憲法31条の非常大権の発動によって受諾された。その結果として、現行憲法が誕生した。但し、「国体法」は、天壤無窮のものであるから、「国体法」に反する現行憲法の規定は、すべて「無効」で、「政体法」的規定のみ有効、と説く。

\* 終戦の詔書の冒頭「朕(中略)非常ノ措置ヲ以テ時局ヲ收拾セムト欲シ(中略)帝國政府ヲシテ(中略)共同宣言(ポツダム宣言)ヲ受諾スル旨通告セシメタリ」

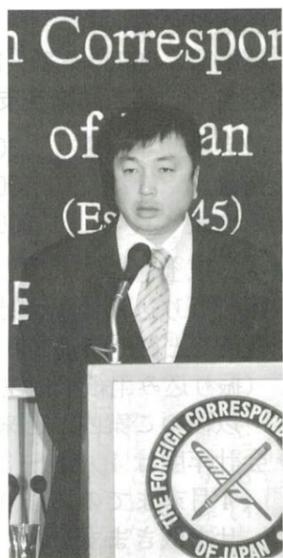
\* 明治憲法第31条「本章(第二章・国民権利義務)ニ掲ケタル条規ハ戦時又ハ国家事變ノ場合ニ於テ天皇大権ノ施行ヲ妨クルコトナシ」

\* 憲法義解(キケ)(井上 毅(こわし)筆)による立法趣旨

「蓋(いだし)国家ノ最大目的ハ其ノ存立ヲ保持スルニ在リ。練熟ナル船長ハ覆没ヲ避ケ航路ノ生命ヲ救フニ必要ナルトキハ其ノ積荷ヲ海中ニ投棄セザルヘカラス良將ハ全軍ノ敗退ヲ避ケタル為ニ己ムヲ得サルノ時機ニ当リテ其ノ一部ヲ棄テサルヲ得ス。国權ハ危難ノ時機ニ際シ国家及国民ヲ救済シテ其ノ存立ヲ保全スル為ニ唯一ノ必要アリト認ムルトキハ斷シテ法律及臣民權利ノ一部ヲ犠牲ニシテ以テ其ノ最大目的ヲ達セザルヘカラス此レ乃(すなわち)元首ノ權利ナルノミナラス亦(また)其ノ最大義務ナリ」

## 憂国の志士Sengoku38が吠える 尖閣映像流出の真相を語る

- 日時 平成23年4月30日(土曜日)受付開始13:00  
14:00開演 16:00終了予定
- 講師 一色正春氏(43歳・元海上保安官)
- 演題 日本の国防について語る
- 会場 大阪商工会議所 国際ホール 大阪市中央区本町橋2-8  
(地下鉄堺筋本町駅から徒歩8分 谷町線谷町4丁目駅から徒歩8分)
- 電話 06-6944-6268
- 参加費 2000円:チケットピア各店舗(Pコード619-044)セブンイレブン、サンクスなどで販売
- 電話予約 0570-02-9999
- 主催 私たちが選ぶ国民栄誉賞委員会
- 共催 関西防衛を支える会、経営者漁火会



Correspondent of an

of an

(E-mail 45)



### 筆者略歴

大正12年佐賀県生、京都帝国大学法学部卒、海軍中尉、京都教育大学助教授、京都産業大学法学部教授、国士館大学大学院教授等歴任

- 二人の法学者の戦後星の流れに 近現代史家 奥村 直 2面
- テレビは核兵器に勝る 元NHK職員 立花孝志 4面
- 我が国のテロリズムは 神奈川農科大学教授 松原好之 6面
- 関防会議員列伝 7面

註1 天壤無窮の神勅  
「豊原の千五百(ちいほ) 秋の瑞穂國は、是れ吾(あ)が子孫(うみのこ)の王(きみ)たるべき地なり。宜しく爾皇孫(いましめみま)就(ゆ)きて治(し)らせ。行(さき)ませ。宝(あま)祚(ひ)の隆(さか)えませむ」と、当(まさ)に天壤(あめつち)と窮(きわまり)なかるべし(日本書紀)

### 註2 国体法と政体法

国家の法体系を一本の本にたとえようと、「憲法は国家の根幹法」「国体法は根に当たる部分」「政体法は幹に当たる部分」ということになる。  
\* 近代国家の政体は、原則として「立憲政体」(三権分立、議会制民主主義、人権尊重)を採る。



昨年12月18日、大阪市中央区の難波神社で開催された「大和心のつどひ」例会で講演された小寺一矢弁護士(小会相談役)の講演要旨を紙上公開します。演題は「真正保守の大同団結」であったが編集子の独断で表題に変更した。

司会(吉村伊平氏)

小寺先生は、西村真悟先生(前衆議院議員)が司法試験に合格され、いわゆる司法修習生として修業された時の大先生であります。

また西村先生は小寺先生を弁護士会第一の右翼と評しておられます。本日は忌憚のない意見を頂戴したいと思いますので、先生、宜しくお願いします。

元北野村と申しまして百姓の村でした。

祖父は大正時代に三高から東京大学の医学部に行っていた者になったのですが、

早く亡くなったので私は知りません。父は昭和10年代に同じく医者になったのですが、ただ祖父と違って

三高も落ちて、浪人は出来ない、という事で大阪高等医学専門学校、今の大阪医科大学に入ったのですが、それが父にとって終生のコンプレックスになったようです。従兄弟などは全て京大に行ったようですので、そういう親父の親族環境のもとで私は長男として生まれました。

皆さん方、御年配の方はご存じかも知れませんが戦前の学園の厳しさというのは現在に比べようもなく、親父にとつて終生の仇だったようで、死ぬまで学園に恨み事を言っていました。

先程言いましたように親父は医学専門学校を出て、北野病院の整形外科の医局に入りましたが、初代の医局長が京大を出られた方で、親父は5年間医局におったのですが、京大を出た人が入局すると常に親父の先任に入る、医局の名札がいつも一番下だったとぼやいていました。専門学校卒と帝国大学卒との身分秩序が徹底していた時代だったんですね。

そのような身分制度の厳しい昭和14年ころ満州行き

になる訓練を受けていなかったらしいです。受けなくともよかったですしですが大手前の連隊に二等兵で入営したようです。その時、親父の同期は既に軍医大尉らしくて馬に乗って營門を出入りしていたそうです。親父は二等兵で内務班でござかれ、ピンタを食っていたようです。

内務班の訓練をへて陸軍の曙部隊に配属されて、輸送船に乗りマニラとかパラオに軍事物資を積んで行く帰りは傷病兵を連れて帰ると

物資を海中に投下して(陸地の兵が)陸揚げする。浜辺に集結した傷病兵を、今で言うトリアージ、つまり軽度の傷病兵を別してマニラに連れ帰り治療して再度兵隊として使える者を選び、重症で回復の見込みのない兵隊は船に乗せない、浜辺で選別するのが軍医の仕事になっていたらしいです。蚕たなのような船倉に収容して、それも無事に着けばよいのですが、雷撃を受けて沈没すれば傷病兵は

このような親父に育てられたのですが5年前に89歳で亡くなりました。私が親父に最後のピンタを貰ったのが20歳の時でした。その理由が、根性が曲がっている、精神がなっていない等等で常に直立不動でピンタを受けました。

戦後は梅田で開業しました。私は曾根崎小学校に昭和23年に入学しました。中学は天満宮の横にある菅南中学校に通いました。皆さんご承知のように大阪駅前前は特に闇市が盛んで、今の第一ビル、第二ビルの辺りは闇市隆盛期で三国人が跋扈して喧嘩、殺人が頻繁に起こっていました。私の同級生も韓国人が多くて、後に柳川組に入って昭和30年代に殺された者もおります。そういう時代の梅田で育ちました。

親父は開業していましたが、からよくパンパンと云われる人達も診察にきました。私は彼女から進駐軍の子ヨコレトやキャンデーを貰いましたね。父親が陸軍の大佐で戦死して家族離散の食つたためにその世界に入った

た良家の女性の「星の流れ」の混沌とした時代でした。朝鮮戦争が始まるとオンリーという女性も出て、パンとオンリーの違いを小学生時代には知っていました。

昭和31年に親父が結核の手術を受けたあと奈良の東大寺整肢園というところに勤めることになりました。一家として奈良市に移りました。私は四人兄弟の一番上で、下が3才か4才だったので大変な生活になりました。今でこそ有名になりましたが東大寺学園の中学部に、男ばかりの80名くらいの学校に編入させて貰いました。大阪で闇市などの変な環境で育った私は奈良の田舎では奇異な存在だったらしいです。当時の東大寺学園には清水公昭さんと上司海雲和尚とか名僧高僧の先生方に接することができて非常に濃密な中学生生活をすごすことができました。それから奈良高校というところに進学したのですが、ここでは段々落ちこぼれになりました。親父は先程述べましたように帝国大学医学部のコンプレックスの固まりですから、京都大学以外の進学は許さないと、奈良高校で京大の医学部に入学しようと思つて上位3番ぐらいに入つてないと到底無理なんです。親父、諦めてくれと言つたのですが、私学は一切許さないと、言いませう。医者になつてもこの厳しい親父を越えられない、と考える検事になる、と言つたと言われて関西大学の法学部に行きました。京大だろ

うと関大だろうと資格を取つたら一緒にないか、と考へて。しかし司法試験の勉強が面白くない中で昭和35年の安保闘争の時代でした。入学して5月に誘われて「安保反対のデモ」に一度だけ参加しました。学校にバスが来て、それに乗れと言つて、難波まで行き「岸を倒せ、安保反対」と叫んでいた学生デモ隊は段々と暴徒化して機動隊とぶつかる訳です。私は裸足で近鉄電車に乗って奈良まで帰つたのを覚えていますが、東大の権美智子という人が国会に突入して圧死したときでした。その時、これはおかしいと感じて一運動に関わりないうつになりました。昭和43年10月に司法試験に合格し、44年4月に司法修習所に入り2年間の修習生生活が始まりました。東大の安田講堂火災闘争などやっていった時代です。

この年、東大が大学闘争の為に3月の卒業式が実施されず、7月に卒業式をする、と言つて東大法学部の現役で司法試験を受けた連中は、40人いますが、この連中だけ最高裁判所の大法廷に集められ「諸君は7月に特別に研修所入所枠を設けるから卒業式を済ませてから来なさい」と言つたんです。京都大学も岡山大学も同じ国立大学で卒業式は7月なのに、彼らには中退して来なさい、と言つたのです。中退入所組に今の仙谷由人(前官房長官)もおるわけですね。

一方の7月入所組のトップは、いま東京高裁の長官をやっている阿部、それから仙台高裁から名古屋高裁の長官に代つた房村君や高検検事長クラスも皆、7月卒業組です。これが今の日本の司法界の中心となっています。昨年から世間を賑わしている大阪地方検察庁の不祥事に関係した検事の人達には東大法学部卒はおられません。東大法学部卒の検事は傷がつかないよう大事にされていますが、この話は話し出したら切りがないので止めておきます。

と云つて44年に研修所に入つてからの2年間は騒然たる時代でした。東京では丸の内三菱企業爆破事件、新宿では騒乱罪が適用されるか、というような学生運動、翌年には三島由紀夫さんの市ヶ谷での割腹自殺などあり、三島さんの生首が写真報道されていました。

私は修習所3期で46年に弁護士になったのですが同期で最初に朝日新聞の一面に載つたのは仙谷でした。46年10月ころ赤軍派立て籠もり事件の時に赤ちゃんが出て、頼良(ライラ)と言つて、頼良(ライラ)と言つて先引き渡すと、赤軍から指名されたのが仙谷弁護士です。ライラちゃんを抱いた仙谷の写真が大きく報道されたわけです。それ以降彼は総評の弁護団に入り、社会党左派でやっていたようですが、その頃は季節の挨拶程度で深い付き合いは無かったです。選挙に出るといつ頃から民主党が政権をとるとは友人として応援して、年二、三回は東京で飲んでいました。

て、西村真悟氏が司法修習を受ける時の指導弁護士としていつかご出会いました。彼は37期ですが非常に元氣な修習生で、私も弁護士生活10数年目でしたから兄貴分として付き合い合つて来た訳です。その中には衆議院議員になつている旧姓権原の稲田朋美弁護士も居ました。

弁護士というのは明治維新政府になつてヨーロッパの司法制度を取り入れて出来たもので文盲で無ければ誰でもなれる、三百文払えば、筋をまげて白を黒と言いくるめてくれる職業で、「三百代言」と蔑称されたものです。私自身が最初検事を志望していて弁護士になったとき、親父から「お前も三百代言」になるのか、と言われました。要するに筋を通さない、姿勢を正さない、と云う風に見られている仕事だと思つていました。

歴史教科書の問題で藤原信勝先生らが市議会、府議会に請願されることがありましたが、その時の大阪弁護士会の会長は「請願を受理するな」と声明を出しました。すると、それを載せる新聞は朝日新聞だけです。その時「請願権は民主主義の根本だ、弁護士会が国民の権利である請願を許さない」というのはどう言つたに何故だしたと会長に迫ると、副会長が出した、と逃げたんです。

死刑執行の問題、教育基本法の問題等々、司法の一翼を担つていながら執行

飲んでいました。

それから10数年ほど経つ

# 星の流れに

## 「こんな女に誰がした」の時代に生きて



小寺一矢氏(元大阪弁護士会会長)

私は昭和16年12月29日の生まれで、真珠湾攻撃の3週間後に生まれました。親父が何を考えたのか、一矢を報いると考へたのか、一矢と言つ名前になつていました。生まれは大坂の梅田で、昔の北野病院で、取り壊されましたが、この間まで私の生まれた部屋がありました。と言つても親父が医師でそこに勤務しておりました関係です。自宅は梅田の堂山町という、今は風俗の歓楽街になっていますが

直立不動で親父のピンタを直つたのですが最後の船だったのですが最後の船は普通の貨物船で国際法上の保護がない状態です。昭17年、昭18年、昭19年、昭20年、昭21年、昭22年、昭23年、昭24年、昭25年、昭26年、昭27年、昭28年、昭29年、昭30年、昭31年、昭32年、昭33年、昭34年、昭35年、昭36年、昭37年、昭38年、昭39年、昭40年、昭41年、昭42年、昭43年、昭44年、昭45年、昭46年、昭47年、昭48年、昭49年、昭50年、昭51年、昭52年、昭53年、昭54年、昭55年、昭56年、昭57年、昭58年、昭59年、昭60年、昭61年、昭62年、昭63年、昭64年、昭65年、昭66年、昭67年、昭68年、昭69年、昭70年、昭71年、昭72年、昭73年、昭74年、昭75年、昭76年、昭77年、昭78年、昭79年、昭80年、昭81年、昭82年、昭83年、昭84年、昭85年、昭86年、昭87年、昭88年、昭89年、昭90年、昭91年、昭92年、昭93年、昭94年、昭95年、昭96年、昭97年、昭98年、昭99年、昭100年、昭101年、昭102年、昭103年、昭104年、昭105年、昭106年、昭107年、昭108年、昭109年、昭110年、昭111年、昭112年、昭113年、昭114年、昭115年、昭116年、昭117年、昭118年、昭119年、昭120年、昭121年、昭122年、昭123年、昭124年、昭125年、昭126年、昭127年、昭128年、昭129年、昭130年、昭131年、昭132年、昭133年、昭134年、昭135年、昭136年、昭137年、昭138年、昭139年、昭140年、昭141年、昭142年、昭143年、昭144年、昭145年、昭146年、昭147年、昭148年、昭149年、昭150年、昭151年、昭152年、昭153年、昭154年、昭155年、昭156年、昭157年、昭158年、昭159年、昭160年、昭161年、昭162年、昭163年、昭164年、昭165年、昭166年、昭167年、昭168年、昭169年、昭170年、昭171年、昭172年、昭173年、昭174年、昭175年、昭176年、昭177年、昭178年、昭179年、昭180年、昭181年、昭182年、昭183年、昭184年、昭185年、昭186年、昭187年、昭188年、昭189年、昭190年、昭191年、昭192年、昭193年、昭194年、昭195年、昭196年、昭197年、昭198年、昭199年、昭200年、昭201年、昭202年、昭203年、昭204年、昭205年、昭206年、昭207年、昭208年、昭209年、昭210年、昭211年、昭212年、昭213年、昭214年、昭215年、昭216年、昭217年、昭218年、昭219年、昭220年、昭221年、昭222年、昭223年、昭224年、昭225年、昭226年、昭227年、昭228年、昭229年、昭230年、昭231年、昭232年、昭233年、昭234年、昭235年、昭236年、昭237年、昭238年、昭239年、昭240年、昭241年、昭242年、昭243年、昭244年、昭245年、昭246年、昭247年、昭248年、昭249年、昭250年、昭251年、昭252年、昭253年、昭254年、昭255年、昭256年、昭257年、昭258年、昭259年、昭260年、昭261年、昭262年、昭263年、昭264年、昭265年、昭266年、昭267年、昭268年、昭269年、昭270年、昭271年、昭272年、昭273年、昭274年、昭275年、昭276年、昭277年、昭278年、昭279年、昭280年、昭281年、昭282年、昭283年、昭284年、昭285年、昭286年、昭287年、昭288年、昭289年、昭290年、昭291年、昭292年、昭293年、昭294年、昭295年、昭296年、昭297年、昭298年、昭299年、昭300年、昭301年、昭302年、昭303年、昭304年、昭305年、昭306年、昭307年、昭308年、昭309年、昭310年、昭311年、昭312年、昭313年、昭314年、昭315年、昭316年、昭317年、昭318年、昭319年、昭320年、昭321年、昭322年、昭323年、昭324年、昭325年、昭326年、昭327年、昭328年、昭329年、昭330年、昭331年、昭332年、昭333年、昭334年、昭335年、昭336年、昭337年、昭338年、昭339年、昭340年、昭341年、昭342年、昭343年、昭344年、昭345年、昭346年、昭347年、昭348年、昭349年、昭350年、昭351年、昭352年、昭353年、昭354年、昭355年、昭356年、昭357年、昭358年、昭359年、昭360年、昭361年、昭362年、昭363年、昭364年、昭365年、昭366年、昭367年、昭368年、昭369年、昭370年、昭371年、昭372年、昭373年、昭374年、昭375年、昭376年、昭377年、昭378年、昭379年、昭380年、昭381年、昭382年、昭383年、昭384年、昭385年、昭386年、昭387年、昭388年、昭389年、昭390年、昭391年、昭392年、昭393年、昭394年、昭395年、昭396年、昭397年、昭398年、昭399年、昭400年、昭401年、昭402年、昭403年、昭404年、昭405年、昭406年、昭407年、昭408年、昭409年、昭410年、昭411年、昭412年、昭413年、昭414年、昭415年、昭416年、昭417年、昭418年、昭419年、昭420年、昭421年、昭422年、昭423年、昭424年、昭425年、昭426年、昭427年、昭428年、昭429年、昭430年、昭431年、昭432年、昭433年、昭434年、昭435年、昭436年、昭437年、昭438年、昭439年、昭440年、昭441年、昭442年、昭443年、昭444年、昭445年、昭446年、昭447年、昭448年、昭449年、昭450年、昭451年、昭452年、昭453年、昭454年、昭455年、昭456年、昭457年、昭458年、昭459年、昭460年、昭461年、昭462年、昭463年、昭464年、昭465年、昭466年、昭467年、昭468年、昭469年、昭470年、昭471年、昭472年、昭473年、昭474年、昭475年、昭476年、昭477年、昭478年、昭479年、昭480年、昭481年、昭482年、昭483年、昭484年、昭485年、昭486年、昭487年、昭488年、昭489年、昭490年、昭491年、昭492年、昭493年、昭494年、昭495年、昭496年、昭497年、昭498年、昭499年、昭500年、昭501年、昭502年、昭503年、昭504年、昭505年、昭506年、昭507年、昭508年、昭509年、昭510年、昭511年、昭512年、昭513年、昭514年、昭515年、昭516年、昭517年、昭518年、昭519年、昭520年、昭521年、昭522年、昭523年、昭524年、昭525年、昭526年、昭527年、昭528年、昭529年、昭530年、昭531年、昭532年、昭533年、昭534年、昭535年、昭536年、昭537年、昭538年、昭539年、昭540年、昭541年、昭542年、昭543年、昭544年、昭545年、昭546年、昭547年、昭548年、昭549年、昭550年、昭551年、昭552年、昭553年、昭554年、昭555年、昭556年、昭557年、昭558年、昭559年、昭560年、昭561年、昭562年、昭563年、昭564年、昭565年、昭566年、昭567年、昭568年、昭569年、昭570年、昭571年、昭572年、昭573年、昭574年、昭575年、昭576年、昭577年、昭578年、昭579年、昭580年、昭581年、昭582年、昭583年、昭584年、昭585年、昭586年、昭587年、昭588年、昭589年、昭590年、昭591年、昭592年、昭593年、昭594年、昭595年、昭596年、昭597年、昭598年、昭599年、昭600年、昭601年、昭602年、昭603年、昭604年、昭605年、昭606年、昭607年、昭608年、昭609年、昭610年、昭611年、昭612年、昭613年、昭614年、昭615年、昭616年、昭617年、昭618年、昭619年、昭620年、昭621年、昭622年、昭623年、昭624年、昭625年、昭626年、昭627年、昭628年、昭629年、昭630年、昭631年、昭632年、昭633年、昭634年、昭635年、昭636年、昭637年、昭638年、昭639年、昭640年、昭641年、昭642年、昭643年、昭644年、昭645年、昭646年、昭647年、昭648年、昭649年、昭650年、昭651年、昭652年、昭653年、昭654年、昭655年、昭656年、昭657年、昭658年、昭659年、昭660年、昭661年、昭662年、昭663年、昭664年、昭665年、昭666年、昭667年、昭668年、昭669年、昭670年、昭671年、昭672年、昭673年、昭674年、昭675年、昭676年、昭677年、昭678年、昭679年、昭680年、昭681年、昭682年、昭683年、昭684年、昭685年、昭686年、昭687年、昭688年、昭689年、昭690年、昭691年、昭692年、昭693年、昭694年、昭695年、昭696年、昭697年、昭698年、昭699年、昭700年、昭701年、昭702年、昭703年、昭704年、昭705年、昭706年、昭707年、昭708年、昭709年、昭710年、昭711年、昭712年、昭713年、昭714年、昭715年、昭716年、昭717年、昭718年、昭719年、昭720年、昭721年、昭722年、昭723年、昭724年、昭725年、昭726年、昭727年、昭728年、昭729年、昭730年、昭731年、昭732年、昭733年、昭734年、昭735年、昭736年、昭737年、昭738年、昭739年、昭740年、昭741年、昭742年、昭743年、昭744年、昭745年、昭746年、昭747年、昭748年、昭749年、昭750年、昭751年、昭752年、昭753年、昭754年、昭755年、昭756年、昭757年、昭758年、昭759年、昭760年、昭761年、昭762年、昭763年、昭764年、昭765年、昭766年、昭767年、昭768年、昭769年、昭770年、昭771年、昭772年、昭773年、昭774年、昭775年、昭776年、昭777年、昭778年、昭779年、昭780年、昭781年、昭782年、昭783年、昭784年、昭785年、昭786年、昭787年、昭788年、昭789年、昭790年、昭791年、昭792年、昭793年、昭794年、昭795年、昭796年、昭797年、昭798年、昭799年、昭800年、昭801年、昭802年、昭803年、昭804年、昭805年、昭806年、昭807年、昭808年、昭809年、昭810年、昭811年、昭812年、昭813年、昭814年、昭815年、昭816年、昭817年、昭818年、昭819年、昭820年、昭821年、昭822年、昭823年、昭824年、昭825年、昭826年、昭827年、昭828年、昭829年、昭830年、昭831年、昭832年、昭833年、昭834年、昭835年、昭836年、昭837年、昭838年、昭839年、昭840年、昭841年、昭842年、昭843年、昭844年、昭845年、昭846年、昭847年、昭848年、昭849年、昭850年、昭851年、昭852年、昭853年、昭854年、昭855年、昭856年、昭857年、昭858年、昭859年、昭860年、昭861年、昭862年、昭863年、昭864年、昭865年、昭866年、昭867年、昭868年、昭869年、昭870年、昭871年、昭872年、昭873年、昭874年、昭875年、昭876年、昭877年、昭878年、昭879年、昭880年、昭881年、昭882年、昭883年、昭884年、昭885年、昭886年、昭887年、昭888年、昭889年、昭890年、昭891年、昭892年、昭893年、昭894年、昭895年、昭896年、昭897年、昭898年、昭899年、昭900年、昭901年、昭902年、昭903年、昭904年、昭905年、昭906年、昭907年、昭908年、昭909年、昭910年、昭911年、昭912年、昭913年、昭914年、昭915年、昭916年、昭917年、昭918年、昭919年、昭920年、昭921年、昭922年、昭923年、昭924年、昭925年、昭926年、昭927年、昭928年、昭929年、昭930年、昭931年、昭932年、昭933年、昭934年、昭935年、昭936年、昭937年、昭938年、昭939年、昭940年、昭941年、昭942年、昭943年、昭944年、昭945年、昭946年、昭947年、昭948年、昭949年、昭950年、昭951年、昭952年、昭953年、昭954年、昭955年、昭956年、昭957年、昭958年、昭959年、昭960年、昭961年、昭962年、昭963年、昭964年、昭965年、昭966年、昭967年、昭968年、昭969年、昭970年、昭971年、昭972年、昭973年、昭974年、昭975年、昭976年、昭977年、昭978年、昭979年、昭980年、昭981年、昭982年、昭983年、昭984年、昭985年、昭986年、昭987年、昭988年、昭989年、昭990年、昭991年、昭992年、昭993年、昭994年、昭995年、昭996年、昭997年、昭998年、昭999年、昭1000年、昭1001年、昭1002年、昭1003年、昭1004年、昭1005年、昭1006年、昭1007年、昭1008年、昭1009年、昭1010年、昭1011年、昭1012年、昭1013年、昭1014年、昭1015年、昭1016年、昭1017年、昭1018年、昭1019年、昭1020年、昭1021年、昭1022年、昭1023年、昭1024年、昭1025年、昭1026年、昭1027年、昭1028年、昭1029年、昭1030年、昭1031年、昭1032年、昭1033年、昭1034年、昭1035年、昭1036年、昭1037年、昭1038年、昭1039年、昭1040年、昭1041年、昭1042年、昭1043年、昭1044年、昭1045年、昭1046年、昭1047年、昭1048年、昭1049年、昭1050年、昭1051年、昭1052年、昭1053年、昭1054年、昭1055年、昭1056年、昭1057年、昭1058年、昭1059年、昭1060年、昭1061年、昭1062年、昭1063年、昭1064年、昭1065年、昭1066年、昭1067年、昭1068年、昭1069年、昭1070年、昭1071年、昭1072年、昭1073年、昭1074年、昭1075年、昭1076年、昭1077年、昭1078年、昭1079年、昭1080年、昭1081年、昭1082年、昭1083年、昭1084年、昭1085年、昭1086年、昭1087年、昭1088年、昭1089年、昭1090年、昭1091年、昭1092年、昭1093年、昭1094年、昭1095年、昭1096年、昭1097年、昭1098年、昭1099年、昭1100年、昭1101年、昭1102年、昭1103年、昭1104年、昭1105年、昭1106年、昭1107年、昭1108年、昭1109年、昭1110年、昭1111年、昭1112年、昭1113年、昭1114年、昭1115年、昭1116年、昭1117年、昭1118年、昭1119年、昭1120年、昭1121年、昭1122年、昭1123年、昭1124年、昭1125年、昭1126年、昭1127年、昭1128年、昭1129年、昭1130年、昭1131年、昭1132年、昭1133年、昭1134年、昭1135年、昭1136年、昭1137年、昭1138年、昭1139年、昭1140年、昭1141年、昭1142年、昭1143年、昭1144年、昭1145年、昭1146年、昭1147年、昭1148年、昭1149年、昭1150年、昭1151年、昭1152年、昭1153年、昭1154年、昭1155年、昭1156年、昭1157年、昭1158年、昭1159年、昭1160年、昭1161年、昭1162年、昭1163年、昭1164年、昭1165年、昭1166年、昭1167年、昭1168年、昭1169年、昭1170年、昭1171年、昭1172年、昭1173年、昭1174年、昭1175年、昭1176年、昭1177年、昭1178年、昭1179年、昭1180年、昭1181年、昭1182年、昭1183年、昭1184年、昭1185年、昭1186年、昭1187年、昭1188年、昭1189年、昭1190年、昭1191年、昭1192年、昭1193年、昭1194年、昭1195年、昭1196年、昭1197年、昭1198年、昭1199年、昭1200年、昭1201年、昭1202年、昭1203年、昭1204年、昭1205年、昭1206年、昭1207年、昭1208年、昭1209年、昭1210年、昭1211年、昭1212年、昭1213年、昭1214年、昭1215年、昭1216年、昭1217年、昭1218年、昭1219年、昭1220年、昭1221年、昭1222年、昭1223年、昭1224年、昭1225年、昭1226年、昭1227年、昭1228年、昭1229年、昭1230年、昭1231年、昭1232年、昭1233年、昭1234年、昭1235年、昭1236年、昭1237年、昭1238年、昭1239年、昭1240年、昭1241年、昭1242年、昭1243年、昭1244年、昭1245年、昭1246年、昭1247年、昭1248年、昭1249年、昭1250年、昭1251年、昭1252年、昭1253年、昭1254年、昭1255年、昭1256年、昭1257年、昭1258年、昭1259年、昭1260年、昭1261年、昭1262年、昭1263年、昭1264年、昭1265年、昭1266年、昭1267年、昭1268年、昭1269年、昭1270年、昭1271年、昭1272年、昭1273年、昭1274年、昭1275年、昭1276年、昭1277年、昭1278年、昭1279年、昭1280年、昭1281年、昭1282年、昭1283年、昭1284年、昭1285年、昭1286年、昭1287年、昭1288年、昭1289年、昭1290年、昭1291年、昭1292年、昭1293年、昭1294年、昭1295年、昭1296年、昭1297年、昭1298年、昭1299年、昭1300年、昭1301年、昭1302年、昭1303年、昭1304年、昭1305年、昭1306年、昭1307年、昭1308年、昭1309年、昭1310年、昭1311年、昭1312年、昭1313年、昭1314年、昭1315年、昭1316年、昭1317年、昭1318年、昭1319年、昭1320年、昭1321年、昭1322年、昭1323年、昭1324年、昭1325年、昭1326年、昭1327年、昭1328年、昭1329年、昭1330年、昭1331年、昭1332年、昭1333年、昭1334年、昭1335年、昭1336年、昭1337年、昭1338年、昭1339年、昭1340年、昭1341年、昭1342年、昭1343年、昭1344年、昭1345年、昭1346年、昭1347年、昭1348年、昭1349年、昭1350年、昭1351年、昭1352年、昭1353年、昭1354年、昭1355年、昭1356年、昭1357年、昭1358年、昭1359年、昭1360年、昭1361年、昭1362年、昭1363年、昭1364年、昭1365年、昭1366年、昭1367年、昭1368年、昭1369年、昭1370年、昭1371年、昭1372年、昭1373年、昭1374年、昭1375年、昭1376年、昭1377年、昭1378年、昭1379年、昭1380年、昭1381

# 関防歴史勉強会

## 中島サロン 第29回 2月26日

ただ今、御紹介頂きました立花です。私はNHKで主に経理を担当して参りました。今、はやりの内部告発などと言つものをしまして一部週刊誌を騒がせましたが、残念ながらテレビでは報道されていませんので、皆さんご存じないかも知れません。

昨年末、八尾の三宅博先生の会合に久しぶりに参加させて頂きました。貴会の濱野会長から、是非うちでも話をしてくれと言われました。当時告発の反動で、病院に行くような落ち込みでした。そんなときに三宅先生や濱野会長から暖かい声をかけて頂き有り難く、元気が出たものです。

平成16年の7月に、NHK紅白歌合戦チーフプロデューサーによる約2億円の横領事件があり、いわゆるNHKの不祥事の始まりがありました。このころから私はずつ病の兆候が出てきました。眠れない、食欲がない、背中が痛い等の得たのしれない症状で高熱が出て、最初は会社(NHK)休んでいたのですが、その後もNHKの不祥事がポロポロ出てきましたが、NHKがそれに対して発表する内容が嘘であり、重大な隠事であったりと言つのが続きました。海老沢勝二さんと言つた時の会長が国会に参考人招致で呼ばれていましたが国会で嘘の証言をしていました。私はその後、ずつと重い鬱病の状態を体験して自宅療養をしていました。

### NHKの表・裏の経理を担当

ところが、その海老沢会長が不祥事の責任を取って辞任すると言つた新聞報道が出て、ずつと顧問になった、と報道されました。当時、僕はNHKの会長とも直接話をする関係でありましたので、海老沢さんは院政を敷くな、と思いましたが、僕はNHKで何億億円というお金を勘定する立場にありましたから、この人は引責辞任しても、この先NHKに何と影響を及ぼして行くな、と確信しました。

そこで新聞報道と異なる点を日刊現代というタブロイド紙に電話して異なつていふことを話しました。すると、それまで鬱病でもやもやしていたのが、何か肩の荷がおりたようにスツツとしてきました。今度はNHKの立花孝志さんと名乗り電話して詳細を語りますと紙面に載せてくれ、それに依つて週刊文春とか週刊新潮など色々なメディアにNHKの実態を説明するようになったら、病もほとんど軽減されていくのを実感致しました。

この行為は当然にNHK側にはばれます。1万2千人規模の組織ですが、僕はトップの方と言つた会長と直接話を出来る立場にいました。それは経理と言つた部門はお金の集まる所ですから必然に権力が集まります。裏金問題と言われますが、その裏金を作る才能が私にあったので

す。

何か問題が起これば、トラブルが発生すれば解決にお金が必要ですから、立花に相談しろ、と言つた立場になっていました。和歌山放送局がスタートしたが一本釣りで取り立てられ、最終的には会長の秘書的な仕事までするようになりまして、NHKは公共放送として、若手の不祥事は許容されると、もみ消しに回つていたのです。例えば派遣の女子事務員がパソコンにコピーをこぼしたりしても経理に言つて来る。海外でホテルの金庫に入れていた50万円ほど盗まれたりした場合、表向きは経理処理は出来ない、こんな問題もNHKの裏経理で処理するのです。これはNHKだけでなく公務員組織だつたら、正直に申告すれば責任を取らなければならぬ。出世に影響するのでも消せ、と言つた指図が出来ます。そのすると裏金がどうしても必要になる。それを捻出するには経理のシステムをしっかりと知つていられる人がやらないと、完全犯罪といつか、きつちりとした裏金は作れないのです。そんな知恵を身につけた結果、NHKで、それなりの発言権を持つようになったり、それなりの情報を得るようになったのです。



元NHK職員 立花孝志氏

## テレビは核兵器に勝る兵器だ

### 公共放送と国営放送の違い

僕は早くから、そんな不正を知っていたのですが妻がいますから問題提起出来なかつたのです。そんな心理的な事でも病気になるのかな、と思つています。

NHKは公共放送と、言われていますが、公共放送と国営放送の違いが解りますか？。放送の形態は三つあるのです。一つは民間放送、一つは公共放送、一つは国営放送、この三つに大きく分かれれます。何が違うかと言いますと、財源が違います。国営と言つたのは、税金で運営されます。だから時の権力者の意向に沿つた放送がされます。イラクのサダム政権がやっていた国営放送、北朝

鮮の国営放送など、権力者にとって有利に放送されるのが国営放送です。民間放送は文字通りお金儲けのためにします。スポンサーを募つて、それが民間放送です。国営放送と公共放送は、正反対で相反しているのです。公共放送は、国家を監視する事を一番の目的として作られています。従つて経営財源は受信料なんです。税金というのは、累進課税で、沢山儲けている人は沢山払わなければならぬし、所得の低い人は払わなくても良いのです。しかし受信料と言つたのは、テレビを置いた人から公平にお金を貰つ、どちらにも偏らない。庶民の為の放送・報道する、と言つたのが公共放送なんです。僕自身公共放送は素晴らしいものと思つていましたから、多少の不正はもみ消した方が良くと考えて一部悪事に手を染めてきた、と言つた手を貸してきました。

演題の「テレビは核兵器に勝る兵器だ」と言つたのは僕がNHK東京の報道局にいるときに先輩に聞いた言葉です。一種、衝撃的な言葉で、我々が扱っている放送という商品はそのまま国民生活に直結しているのだ、影響しているのだ、テレビによって国民を洗脳しているのだ。

いわれる刑事罰に問われる。それくらい怖いのです。イギリスでは99%が受信料を払つていてるそうです。昨年イギリスのブラウン首相が襟のピンマイクを取り忘れ、支持者の太つたおぼさんとの会話を設定した側面に「何だあんたへんてこのぼあさんに会わせやがって」とコメントした件がラジオで放送されました。イギリスの放送局が凄いの、時の権力者に絶対に媚びない事です。権力者の動向を最優先で国民に伝える事をチャーターズム魂としているイギリスでは国民は当然の事として受信料を払つて居るのです。BBCのスポンサーは国民である、と言つた事が子供のころから教育されているイギリスならではの事です。これが本来あるべき公共放送の姿でしょう。

### 元海上保安官の 一色正春氏と 同年の正義の世代

僕が働いていたNHKでも、そうあるべきだと思つていたのですが、どうもそうでは無い。僕なりに内部の不正を文芸春秋等で告発して来ましたが、残念ながら誰もついて来ませんでした。僕のような意味で無鉄砲な職員を、陰で支えてくれる人はいたのですが表立って告発する人は出ていません。

今回、海上保安官の一色正春さんが中国漁船の無法行為をビデオを流出させましたが、僕と同じような感覚ではなかつたか、と思つています。一色さんと同じ歳なんです。僕の年代はタイガーマスクとかデビルマン、仮面ライダー、宇宙戦艦ヤマト等のアニメで育つた世代なんです。悪と勇敢に戦つて最後は死んでいく、そういうヒーロー物語を見て育つた世代なんです。僕達の世代がもっと上の機密に触れる立場になってくれば、正義の告発する人達が増えてくるのでは、と期待しています。

次に、NHKと関係の深い大相撲の八百長事件とか、デジタル化とか裏金作り、関連会社設立などについて話します。

デジタル化の問題は、実は一番大事なことなんです。僕はNHKを批判していますが、批判だけでは無く、対策を準備しています。NHKの事は今でも好きなんです。が、しっかりと公共放送に戻つてほしいと思つて活動しています。

デジタル放送とは簡単に言えば、従来のアナログ放送の三倍になる、つまり電波の幅が三倍になるのです。(ここで数字を挙げて説明があったが省略する) 例えは現在の道路幅を二車線に三車線、つまり普通自動車しか走れなかつた道に大型トラックが走れるようになった、と言つたものです。地上デジタル放送と言つたのは、総務省テレビ局が、一種国民を欺いているのです。

### クロスオーナーシップの弊害

雑誌とか新聞と違って、公共の電波は公正中立を保ち放送しなければならない、と言つ法律があるのです。現在、地上テレビ局は七つしかチャンネルが出せないのですが、これが三倍の21チャンネルになると、どうなるか。この三倍になる電波を既得権者であるNHKや民放は

(3面からの続き)

大阪で一番大きい事務所の所長の人でしたが、私に「あなた、東京ではどこに住むの？」と聞かれました。靖国神社の近くのマンションです」と言つた「気持ち悪い」と言つた。そつゆつ男です。その一言で解るから二年間、僕は一切支え無かつた。

朝鮮学校の子マチャゴリ事件(朝鮮学校の生徒を侮辱したという事件)でも、丁度三陸沖にテポドンが打ち込まれた時でしたが弁護士会は人種差別、人権侵害と声明を出す事を迫るので、私は当時会長でしたが、我が国民を不当に拉致して返してないという事実を声明文に摘示した上で出すのなら良だろう、と言つたら取り下げられました。弁護士会は自国民の人権保護を第一に挙げるべきでね。

左に汚染される日弁連 大阪弁護士会の会長は日弁連の副会長を兼ねるので、私が副会長で行つてるとき、18年の9月ころですが、私が副会長で行つてるとき、18年の9月ころですが、私が副会長で行つてるとき、18年の9月ころ

(5面に続く)

# NHKの偏向報道には「不払い」で応えよう

## 「公共放送」ではなく「公害放送」を垂れ流すNHKを追い詰めよう

公共放送法では「政治的に公平である」「報道は事実を曲げない」「意見が対立している問題に関しては、多角的に論点を明らかにする」と決められています。NHKはこれらすべてに違反しています。私たち国民の手で公共放送を正さなければ、子々孫々に重大な禍根を残すことになるでしょう。

手段として法的訴訟もさることながら皆様が今日から取りかかれる対策は「受信料の不払い」でしょう。受信料を自動引落としにしている人は、銀行窓口でNHKの口座振替を停止したい旨を述べ、手続きできます。暫くはNHKの集金人が督促に来ますが「放送の内容が放送法に違反しているので払いません」と言い続ければ、やがて来なくなるでしょう。

受信料不払いの資料をご希望の方は「維新政党・新風」

または下記にお問い合わせください

NHK報道を考える会 電話・FAX 03-5203-2226

維新政党新風京都事務所 電話 075-256-1545

FAX 075-241-2193

〒604-0912 京都市中京区二条通河原町東入

京都書店会館2F

# 尖閣を守れ！最前線の石垣市を激励する旅

■期間 6月3日(金)～5日(日) (2泊3日)

■Aコース(石垣たっぷりコース)6月3日6:25羽田発→石垣市(定員40名)

■Bコース(久松五勇士の足跡を辿るコース)6月3日6:55羽田発→宮古島市→18:05石垣市(定員16名)

■日程(以下はA・B共通)3日夜仲間市議他市の有力者との交流会(石垣市宿泊)/4日 石垣市→那覇市(那覇市宿泊)/5日 那覇市内観光(ひめゆりの塔、首里城、琉球村)→羽田着19:10

■料金 Aコース<一人部屋>8万4800円<二人部屋>6万8800円 / Bコース<一人部屋>7万6000円<二人部屋>7万円(すべて朝食付、観光施設入場料込み)

■申込み・問い合わせ

03-5640-2525

「にこにこツアーリスト」4月20日まで

関西防衛を支える会

TEL/FAX

06-4302-5187



（4面から続き）  
手放したくないのです。例えば、余った電波を、今回の大相撲の八百長事件を報じた講談社がテレビのチャンネルを持って真実を報道したと、また文芸春秋とかフライングの各放送局は存立の危機に立つ訳です。  
つまり新聞社がテレビ局を持っている事をクロスオーナーシップと云いますが世界中で日本だけなんです。そもそも新聞は版権から始まり権力を監視する役割を持っていたのです。だから欧米諸国は新聞社がテレビ局を持つと権力が集中してしまう、と云う事で法律で禁止しているのです。大阪で云うと、読売、朝日、産経、毎日、日経の新聞社が10、6、8、4、19のチャンネルを持っています。同じ資本の人がやっていますから自分らに不利な事は云わないのです。新聞もテレビも当然にデジタル化の情報を一方的にしか知らないのです。デジタル化すれば画面が綺麗になりますよ、と云われないのです。

デジタル化の真実  
もっと民間に電波を解放したら良いのですが、今、コマシヤル市場は年間2兆円と云われています。この2兆円と云うのは増えませんが、ここに新しいテレビ局が参入すれば視聴率が分散して既存局はコマシヤル収入が減って困る訳です。だから今のテレビ・新聞は自分らに不利な事は報道しないのです。デジタル放送になればマックス21チャンネルになる、と云う事は覚えておいて下さい。

NHKは報道番組に徹せよ  
このように、これまではテレビを置いたら払え、でしたが7月24日からはNHKに対してカードを提示してNHKは映らないようにしてくれ、と申し込めば、NHKは断れない、と云えます。テレビを置いていてもNHKは映らないのだから支払う必要はない事になります。NHK画面はスクランブルで真っ暗です。

NHKがなぜ傲慢なのかと云うのかと、お上ばかり見て視聴者を見ていないのです。どんな悪いことをしても政治家にゴマを擦って、彼らの悪口を言わなければ予算が通り、法律を改正される事はないのです。このように技術革新でテレビが大きく変わるにしている時に放送法が改正されないのです。しかし具体的にNHKに物言える時代が7月に到来するのです、僕は先頭を切つてやろうと考えています。  
受信料と云うのは、公共料金というのとは使った分だけ払うと云うのが普通ですね。NHKの年間予算は6500億円くらいです。番組制作費と云うのは質を落としたり別ですが基本的には同じなんです。いま払っている人は1345円で、衛星放送契約に変えさせられた人は、さらに945円上乗せさせられて2300円位払っているんです。  
ここでカード番号によってスクランブルをかける事を認めさせれば、間違いなくNHKは収入が減り財政難に落ち番組を圧縮するしか方法がなくなるのです。NHKに求められる番組は報道なんです、ドラマとか映画、スポーツなどはお金が掛かるのです。そんな番組はカットしていけばいいのです。特に今のNHKは記者クラブに詰めて、聞いて流すだけだから御用放送です。  
因に大阪では受信料を払っている世帯は4分の1です。NHKは70%と云っていますが大阪は特に低いです。全

世帯が払えば月額1000円で賄える計算になり、それが裁判したのですが司法の判断は、それは立法府が決める事だと言った判決でした。司法としては著しく合理性に欠けていなければ原告に有利な判決は出せない、と云うことでした。  
講師プロフィール  
昭和42年、大阪生。大阪府立信高高校卒業後NHKに入局。和歌山放送局、大阪放送局、東京本部報道局・編成局で勤務。平成17年4月、週刊文春で内部告発して依願退職。現在チャンネル桜に出演したりNHKが係争している裁判に積極的に協力している。  
2月26日、関西歴史勉強会中島サロンの講演要旨です。(文責・新川)

<b>第30回</b> 関防会歴史勉強会 <b>中島サロンの御案内</b>		<b>第31回</b>	
<b>期 日</b> 平成23年4月9日(土) 午後4時開始	<b>期 日</b> 平成23年6月11日(土) 午後4時開始	<b>演 題</b> 抑止力とは何か 米国の長期的軍事戦略展望	<b>演 題</b> 大嵌(おおは)めに嵌(は)められた日本
<b>講 師</b> 中村好寿氏 (防衛大学9期)	<b>講 師</b> 若狭朋和氏 (教育学博士)	昭和18年広島県生、陸上自衛隊入隊(普通科)、米国立スタンフォード大学大学院、陸自幹部学校戦略教官、東北方面総監部幕僚、ジョージア工科大学客員教授等『2020年の軍事力』など多数発刊	昭和17年福岡県生、九州大学法学部卒、岐阜県下の県立高校教師を平成15年定年退職、現在、人間環境大学講師『日本人が知ってはならない歴史 全3巻』など著書多数
<b>会 場</b> 錦城閣 ☎06-6941-2185 地下鉄谷町線、京阪電車天満橋駅下車直上 キャッスルホテル3F(中国料理店)	<b>会 費</b> 5,000円 (中華料理と酒代含む)	<b>備 考</b> 自由出席ですが下記へFAXを 頂けたら幸いです FAX 06-4302-5187 (関防会)	

テロリズムは、わが国においていろいろな名を変えてきた。いわゆる「国難の時期」に起る。

一方、アラブ世界の反米自爆テロにも伝播したことに私は注目したい。

山口二矢の浅沼社会党委員長刺殺テロと獄中の絵死から50年、三島由紀夫の市ヶ谷自衛隊駐屯地における自決テロから40年を経た。三島の自決テロに対し、新左翼の教祖だった滝田修は、「わが方にも三島のような烈士がほしい」とつぶやいた。それはあまりにも有意味だが、その後、京大生與平剛士、安田安之によるリッパ空港乱射と自らの顔を破壊する自爆テロが敢行され、三島事件同様、世界に衝撃を与えたことになった。とくに與平剛士が遺書として残した「天よ、われに仕事を与えてよ」はすべて満ち足りているはずのエリート学生による魂の叫びだけに、若い学生に強いインパクトを与えた。その「命」の取り扱ひ方の「日本人らしさ」として、後のアラブ世界における反米自爆テロにも受け継がれていると見る見方もある。

70年代80年代新左翼は、いわゆる内ゲバに明け暮れる時代となった。革共同派である中核派と革マル派、それに社青同解放派(革労協)による、相手への殲滅戦は、100人近い死者と2000人を越える負傷者をかぞえているが、その下手人の多くは今のところ逮捕されておらず、おそろくは市民の中に埋もれて、撲殺の記憶を「どういっわが行われ、多くの若者が散華した。これは、靖国神社遊就館に展示されている「遺書」の中に詳らかであり、そこを訪れる人たちに、その魂は受け継がれるが、

と消えていった彼らのテロリズムは、いまだ彼らの掌の外のどこへも流れていない。

テロリストは、テロの瞬間に光芒を放ち、その瞬間の光芒が後世の人々にも残像のように影響を残す。それはテロリストが、テロの直後に自らも死ぬから。死ぬから「生命」よりも大きな存在のために生きてきたことが明かされ、後世の人々にはこれほどの価値観が揺さぶられ、深甚の影響を受けるのだ。

市井に潜むテロリスト群像

私は昭和27年岐阜県益田郡(現下呂市)金山町という今で言う過疎の町に生まれました。祖母が百姓をしており、おばあちゃん子だった私は、大阪外国語大学(現大阪大学外国語学部)に入った後、三里塚闘争(成田空港反対闘争)に参加しました。そして、昭和53年、卒業直後に行った管制塔突入闘争、いわゆる78年3・26闘争で、あえなく逮捕されました。

たどると、何と、3度回す完全黙秘を貫くことができた。山ほどある言いたいことをぶちまけた。少なからず、「作家」の肩書を持つことになりました。『京都よ、わが情念のはるかな飛翔をせよ』という長い、自分でも舌を噛みそうなるタイトルで、自身の京都での浪人時代を回想して書いたものでした。今は絶版です。書くきっかけになったのは、私を取り調べた千葉地方検察庁検事のTという私より6つか7つ年上の男の言葉でした。「お前、文学的センスあるな。なら、書けよ。過激派みたくヘルメットマスクで顔を隠し、闇

から闘争のほうが好きだ。お前も言いました。「おれもや

つたことを言ったろうか。司法試験に受かった時、子どもが生まれた時だよ。その時は、俺は皇居に行っ

てて頭を下げた。お前ら左翼はこの気持ちわかん

だろ。おれがなぜこんな話をするかわかるか。それは、お前がパケられる

カ月ほど前、鉄塔にしがみついて丸2昼夜、降りてこ

なかつた。ほら、例の吉川

ペンネーム吉川、あいつ、知ってるだろう、おれが取

り調べたんだ、あいつ右翼

なんだぜ。2・26事件の機

関部一を尊敬し、三島由

紀夫にはまっぴらという

必死に自分の体をロープに結び付けて拒んでいるうち、指が凍傷でポロポロ落ちた

にもかかわらず、まだ降りてくることを拒んでいたん

ですが、とうとう最後にな

って、反対同盟のおつかあ

に、泣かれながら「もうい

いよ。あんたのおかげで私

ら助かったよ。もういいよ

降りてきなよ。」の一言を

もらってやっと降りてきて、

にやりと笑って手錠をかけた

られた、とうとうつもな

くかっこの男の中の男で

した。T検事が言うように、

そいつが右翼だった、とい

うことは、自分で自分を左

翼だと思っていた私には、

いさかショックでした。

三島由紀夫が自決したとき、

新左翼のカリスマ教祖

滝田修が、「わが左翼にも

三島のような烈士がほしい

」と言った言葉の裏返し

のようでもあり、なんだかと

つもなくなり、悪かっただけ

でもなく、気が悪かっただけ

を覚えていて、今でも交流があ

って、いろいろな法律相談を

「無料」で受けてもらって

います。

一日会の中村さんや、中山

山先生は、20年ほど前に、

私が今も勤める河合塾大阪

校で「左右激突討論会」とい

うイベントを企画し、私

自身が司会を務めさせてい

ただいたとき、お世話にな

った方々です。このイベ

ントは、7、8年続きまし

たね。左からは、元赤軍派

の塩見孝也議長、右からは

一水会の鈴木邦男代表がメ

インゲストで来ていたとき

その年によって、中山先生

はじめいろいろな方に出て

いたとき、若く多感な浪人

生たちに深甚の影響を与え

ました。やがて、テレビで

「朝まで生テレビ」が始ま

って「右翼特集」が組まれ

たり、ゲストで招んだ漫画

家の小林よしのりさんが、

参加以来、生徒たちの熱気

に押されるかたちでオウム

事件に取り組み始め、坂本

弁護士事件の解決につなが

ったこともありましたが、

グリコ森永事件の犯人と目

されたキツネ目の男と宮

崎学さんは、年収一億、借

金三十億、貯金ゼロ、愛人

五人を堂々と発言され、生

徒はその一つ一つに深いた

め息をつきました。また河

合塾に集った反日講師、及

びその追従職員妨害にも

かわらず、関西の教育機

関で初めて拉致被害者の一

人運送機を乗せたお招びし

たときには、あちこちの高

校の先生から多くのメール

をいただき、河合塾こそ真

の教育機関だ、なんて言わ

れました。先生方も日、エ

らよほど日教組にえらい目

にあわされてるんですね

(笑)。

日蓮宗の名だたる宗教者

の霊性を上回る三島由紀夫

の霊性。彼の作品が読まれ

続け、また、どこかでテロ

リズムといつかたちでその

魂を受け継がれ続けるのは

彼のその「魂の裏に魅惑と

昇った」生命を越えたもの

の存在「霊性のせいではな

いでしょか。

学校の先生にお願いしま

す。どうか、生徒の修学旅

行先を靖国神社に、という

義務付けをお願いしたいと

思います。三島作品を読め

るようになる前に、靖国神

社で、そんなに年の変わら

ないままこの国のために散

華した先達たちの魂に触れ

て、日本人の霊性に近づい

く瞬間を共有することこそ、

真の教育だと思つたらす

す。

特攻隊

山口 二矢

三島由紀夫

大東亜戦争の末期には、

神風特攻隊による体当たり

攻撃(今でいう自爆テロ)

が行われ、多くの若者が散

華した。これは、靖国神社

遊就館に展示されている

「遺書」の中に詳らかであ

り、そこを訪れる人たちに、

その魂は受け継がれるが、

と消えていった彼らのテロ

リズムは、いまだ彼らの掌

の外のどこへも流れていな

い。

テロリストは、テロの瞬間

に光芒を放ち、その瞬間

の光芒が後世の人々にも

残像のように影響を残す。

それはテロリストが、テロ

の直後に自らも死ぬから。

死ぬから「生命」よりも大

きな存在のために生きてき

たことが明かされ、後世の人

々にこれほどの価値観が揺

さぶられ、深甚の影響を受

けるのだ。

市井に潜む

テロリスト群像

私は昭和27年岐阜県益田

郡(現下呂市)金山町とい

う今で言う過疎の町に生ま

れました。祖母が百姓をし

ており、おばあちゃん子

だった私は、大阪外国語大

学(現大阪大学外国語学部)

に入った後、三里塚闘争

(成田空港反対闘争)に参

加しました。そして、昭和

53年、卒業直後に行った管

制塔突入闘争、いわゆる7

8年3・26闘争で、あえなく

逮捕されました。

たどると、何と、3度回す

完全黙秘を貫くことができ

た。山ほどある言いたいこ

とをぶちまけた。少なから

ず、「作家」の肩書を持つこ

とになりました。『京都よ、

わが情念のはるかな飛翔を

せよ』という長い、自分でも

舌を噛みそうなるタイトル

で、自身の京都での浪人時

代を回想して書いたもので

した。今は絶版です。書く

きっかけになったのは、私

を取り調べた千葉地方検

察庁検事のTという私より

6つか7つ年上の男の言葉

でした。「お前、文学的セ

ンスあるな。なら、書けよ

。過激派みたくヘルメット

マスクで顔を隠し、闇から

闘争のほうが好きだ。お前

も言いました。「おれもや

つたことを言ったろうか。

司法試験に受かった時、こ

どもが生まれた時だよ。その

時は、俺は皇居に行っ

てて頭を下げた。お前ら

左翼はこの気持ちわかん

だろ。おれがなぜこんな

話をするかわかるか。そ

れは、お前がパケられる

カ月ほど前、鉄塔にしが

みついて丸2昼夜、降りて

こなかつた。ほら、例の

吉川ペンネーム吉川、あ

いつ、知ってるだろう、

おれが取り調べたんだ、

あいつ右翼なんだぜ。2・

26事件の機関部一を尊敬

し、三島由紀夫にはまっ

ぴらという必死に自分の

体をロープに結び付けて

拒んでいるうちに、指が

凍傷でポロポロ落ちた

にもかかわらず、まだ

降りてくることを拒んで

いたんですが、とうとう

最後になって、反対同盟

のおつかあに、泣かれな

がら「もういいよ。あん

たのおかげで私ら助かっ

たよ。もういいよ。降り

てきなよ。」の一言を

もらってやっと降りて

きて、にやりと笑って手

錠をかけた。られた、

とうとうつもなかっ

この男の中の男でした。

T検事が言うように、

そいつが右翼だった、

ということは、自分で

自分を左翼だと思ってい

た私には、いさかショ

ックでした。

三島由紀夫が自決した

とき、新左翼のカリスマ

教祖滝田修が、「わが左

翼にも三島のような烈士

がほしい」と言った言葉

の裏返しのようにもあ

り、なんだかとつもなく

気が悪かっただけでも

なく、気が悪かっただ

けを覚えていて、今でも

交流があるって、いろ

んな法律相談を「無料

」で受けてもらって

います。

一日会の中村さんや、

中山山先生は、20年

ほど前に、私が今も勤

める河合塾大阪校で「

左右激突討論会」とい

うイベントを企画し、

私自身が司会を務め

させていたとき、お

世話になった方々

です。このイベント

は、7、8年続き

ました。左からは、

元赤軍派の塩見孝也

議長、右からは一

水会の鈴木邦男代

表がメインゲスト

で来ていたとき

その年によって、

中山先生

はじめいろいろな

方に出ていたとき、

若く多感な浪人生

たちに深甚の影響

を与えました。や

がて、テレビで

「朝まで生テレビ

」が始まって「

右翼特集」が組

まれたり、ゲ

ストで招んだ

漫画家の小林

よしのりさん

が、参加以来、

生徒たちの熱

気に押される

かたちでオウ

ム事件に取り

組み始め、

坂本弁護士事

件の解決につ

&lt;



まさたけ  
**田中正剛氏** (35歳)

西宮市議会議員

負の遺産の清算・  
初志を忘れず

〒662-0854  
西宮市榎塚町1-14光永ビル3F

**荒木幹男氏** (62歳)

大阪市議会議員(自由民主党)

祝日には  
国旗を揚げましょう

〒555-0033  
大阪市西淀川区姫島3-10-1



**筒井のぶお氏** (45歳)

兵庫県議会議員(自由民主党)

陸上自衛隊少年工科学  
学校の経験を生かし  
責任を持つ政治の再  
建を目指す

〒662-0047  
西宮市寿町2-37  
ロイヤルハイツ夙川101



ひとし  
**岩木均氏** (52歳)

大阪府議会議員

大阪の開花を願う

〒547-0044  
大阪市平野区平野本町1-13-11



は ぜ じゅんいち  
**土師純一氏** (50歳)

堺市議会議員(みんなの党)

議員定数削減、  
議員報酬削減、  
議員年金廃止

〒590-0115  
堺市南区茶山台3-16-2

ひとし  
**加藤均氏** (81歳)

堺市市議会議員(自由民主党)

市民と自衛隊とのふ  
れあいを深め安全保  
障意識の昂揚を図る

〒590-0948  
堺市戎之町西1-1-30



みずのうえなるあき  
**水ノ上成彰氏** (47歳)

堺市議会議員(大阪維新の会)

大阪の再生は  
日本再生の切り札

〒592-8347  
堺市西区浜寺諏訪森3-234-4



かみや そうへい  
**神谷宗幣氏** (33歳)

吹田市議会議員

志をもって万事の源  
となす、変えよう!  
若者の意識

〒565-0851  
吹田市千里山西1-37-20



**森脇やすと氏** (58歳)

兵庫県議会議員(自由民主党)

道徳教育の普及、  
夫婦別姓反対、  
学力向上

〒665-0852  
宝塚市売布2-5-1  
ピピアめふ1-107

すぎ はじめ  
**杉一氏** (30歳)

伊丹市議会議員

未来に、子供に負担を  
残さないために

〒664-0897  
伊丹市桜ヶ丘4-4-23  
桜ヶ丘ハイツ203



# 関防会の会員議員を紹介します

(アイウエオ順)

関防フォトフラッシュ



山本 覺氏 藍綬褒章受章記念祝賀会  
前列中央、山本夫妻、後列右から5人目寺島泰三郷友会長 (元・統合幕僚長)



雪中の紀元祭 2月11日檀原神宮参拝関防会役員

東日本大地震に思う

総務部長 山本賢一

三月十一日午後二時四十分頃、三陸沖を震源地とする巨大地震が発生した。岩手、宮城、福島各県の沿岸地域に高さ十数メートルの津波が襲い、沿岸の集落が軒並み壊滅的被害を受けた。同時に福島県の沿岸地域に建設されていた東京電力の原子力発電所(福島第一、福島第二等)が激震と巨大津波の影響で深刻なダメージを受けた。

この地震の大きさは、当初マグニチュード8.8と報じられていたが数日後には「実は観測史上最大の9.0だった」と修正された。テレビから流れてくる地震災害の映像は正視できないほどの悲惨さである。沿海部の集落を津波から守るはずの頑丈な防護壁はズタズタに破壊され、沿岸から数キロ先まで木々端みじんが破壊されてしまった。特に世界中を驚かせたのは、原発で発生した深刻な爆発事故である。核問題に対する特別の思いを有する日本だから、原発の安全には他国より留意しているものと考えられていただけに「あつてはいけない事故だ」「想定をはるかに超えた深刻な事故だ」とのコメントが内外から寄せられた。

福島第一原発の一号機において水素爆発が起き、続いて三号機において巨大な炎と共に黒煙が空高く噴出した映像は全世界に大きな衝撃を与えた。

どうやら地震と津波の影響で核燃料の格納容器を冷却する装置が全面的にダウンしたといつことらしいことが判明した。

ここでも「想定以上の地震と津波だったのでは」というようなコメントが散見された。しかし、この地球上でマグニチュード9以上の地震が何回か起こるに過ぎない。日本にはそれだけの技術があったはずだ。

報道によると、想定された津波の高さは最高でもせいぜい五ないし六メートルだったとのことである。原子炉建屋の想定震度も低い水準に止まっていたはずだ。なぜこのような甘い判断が下されたのか、厳しく責任を追及しなくてはならない。なぜなら破壊された原子炉建屋からは大量の放射性物質が外部に拡散しているからである。外国の大使館が関西や広島に移転をした。関東の農地から採取された野菜類から基準以上値が検出されている。原発破壊の影響がどこまで拡散するの全く分からない。日本の危機管理能力が問われている。一日も早く安心して生活できる日が来ることを念じるばかりだ。

編集後記

\*この号の編集に入った東北関東大震災が発生した。菅内閣総理大臣は自衛隊10万人出動を指示した。野党時代は国旗・国歌法案制定に反対し、自衛隊を税金泥棒呼ばわり蔑視した人物だ。このような人物が自衛隊の最高指揮官とはブラックユーモアではないか。

東電の原子炉が融解したように我が国も溶け始めているのではないかと、\*尖閣諸島、北方領土、竹島などの問題を解決するには国家の基盤である憲法を変えなければならない。そして、国際標準の国力相応な軍備を持たなければ、解決の端緒につけない。

陸軍刑法、海軍刑法の復活、そして空軍刑法を制定してこそ軍隊である。軍法会議の無い自衛隊は軍隊ではない事実を我々は再確認すべきであろう。

\*奥村直氏は筆致を押さえ、ておられるが直参旗本の末裔の心情を垣間見る思いの一行、山川健次郎先生は親藩会津の「忠烈今も香に残す花も会津の白虎隊」の生き残り。

\*小寺弁護士は同世代で今や懐かしさを感じる戦後社会を語っておられる。昭和30年代大阪駅前前の織維問屋街は闇市の匂いを濃厚に残し、三人が闊歩する街は火事が発生すれば10分間で燃え尽きるような木造建築物で溢れ、歩行すら困難な股賑があった。夜になれば街が没した街は今や近代的なビル街に変身して往時を偲ぶものはない。

\*立花孝志氏はNHKの在り方を説いて説得力がある。NHKのアナウンサーは皇室に対して敬語を使わない、編集者はそれを根拠に支払いを拒否して30年になる。

**銃眼**

朝鮮問題が6ヶ国協議に戻るのか、最悪事態に変わるのか。朝鮮戦争は休戦中であるが、早晩休戦が破られて戦況及び治安の不安定事態が発生することは予測される。米中戦争に発展しないでも、米韓両軍をほじめ、朝鮮国連軍参加国がこの收拾のために参戦することになる。日本はこの参加国との間に「国連軍地位協定」を締結しており、在日米軍基地のうち7ヶ所を国連軍用基地と指定している。

朝鮮半島最悪の事態に対処せよ

日本が朝鮮半島最悪事態のシナリオに対処するためには、国連軍を支援するために1999年に制定した周辺事

のために基地だけでなく、空港、港湾等も提供し、情報、後方兵站など自衛隊による軍事援助が必要となる。又、邦人救出の問題では、戦場となっている韓国の空港、港湾などを日本が優先的に使用する事は不可能で、米韓、国連軍と前もって外交的にも調整しておく必要がある。

北朝鮮系の人々を含んだ何万、何十万人もの難民が日本にたどり着くであろう。その人達のための収容施設、衣料給食、生活環境の支援、又暴動抑止の方策等は出来ているのか。

北朝鮮のミサイル攻撃に對しては、ミサイル防衛と敵基地攻撃しかない。ミサイル防衛は技術的、数量的に日本全土は守れない。敵

基地攻撃は今の自衛隊では技術的に不可能で、米韓軍に依存せざるを得ない。シエルト、地下街の空気清浄、国民指導訓練の対応策は何も出ていない。

北朝鮮には20万人(韓国国防白書による)の特殊部隊があり、韓国、日本の国内にはこれに通ずる者がいる。1996年韓国に26人のゲリラが侵入しただけで、韓国軍は6万人の兵士を数日投入せねばならなかった。

要人テロ、国民生活を維持する国内の各発電所、石油コンビナート、水源地、通信機器、交通施設等へのゲリラ攻撃に対する警察の対応は緊急の課題ではないか。

新しい歴史教科書の採択推進大会

本年は、いよいよ教科書採択の年です。  
自由社版「歴史」「公民」の教科書を大阪の中学生に届ける運動にご参加下さい

\*日時 6月25日(土)午後2時から5時まで  
\*会場 大阪市立中央会館ホール  
電話06-6211-0630  
大阪市中央区島之内2丁目12-31  
地下鉄堺筋線、長堀鶴見緑地線「長堀橋駅」下車 6号出口南東へ徒歩6分

\*講演登壇予定者  
藤岡信勝(東大名譽教授)  
三宅博(立ち上がり日本・大阪14区代表)  
濱野晃吉(関西防衛を支える会会長)  
他にも打診中です

\*入場無料 奮っての御参加をお待ちしています

**死んでたまるか!!**

田幸教授(琉球大)開発の特許商品!!  
沖縄モズクと北海道産真昆布ガニアンの純粋フコイタンをダブルで配合!!  
生活習慣病が気になる方に...

**Fucoidan Z**  
フコイタンゼット

【フコイタンZ】150粒(25-50日分)25,000円  
お試し用30粒入り2,000円とお徳用350粒入り50,000円もあります。

Beauty Health Laboratory  
**ビー・エイチ・ラボ**  
〒553-0006 大阪市福島区吉野4-19-10  
TEL(06)6462-5820 FAX(06)6462-5824  
携帯・PC共通 http://bh-labo.net

**送迎車両の運行と管理は安心・安全の弊社へ!**

人員送迎の  
・乗用車・ワンボックス車  
・マイクロバス・大型バス  
運転請負の専門会社

社団法人 日本自家用自動車管理業協会(正会員)  
株式会社 **サンワ運行委託**  
フリーダイヤル 0120-77-5645  
URL http://www.sanwa-drivers.co.jp/  
一本社一  
〒570-0032 大阪府守口市菊水通2-19-1(菊水第二ビル)  
☎06(6993)5645 FAX06(6993)5644  
神戸支社 ☎078(652)5645/京都営業所 ☎075(595)5645